

トークン方式ワンタイムパスワードの導入

スパイウェア等を利用したネット金融犯罪が急増・手口が高度化する中、お客さまに安心してネットバンキングをご利用いただけるよう、ジャパンネット銀行では、二要素認証の代表的かつ最高レベル技術のひとつと言われる、「トークン形式のワンタイムパスワード」を導入いたしました。

◎使い捨てのパスワードが表示されます。

キーホルダー大のハードウェアトークン(右写真)に、60秒ごとに変化する使い捨てパスワードが発行されます。一度使用したワンタイムパスワードは無効となりますので、万が一フィッシングなどでワンタイムパスワードが盗まれた場合でも、それを再利用し、不正に取引されることはありません。



◎トークンはスパイウェアに感染いたしません。

トークンはお取引にご利用されるパソコン、携帯電話などと接続して使用するものではなく、また一切の通信を行いませんので、万が一パソコンや携帯電話がスパイウェアなどの不正プログラムに感染し、パソコンや携帯電話内の情報がすべて監視されていた場合でも、トークンに表示されているワンタイムパスワードを監視されることはありません。

